

## 第5回国際フォーラム「被災地」から「復興知」へ 発信メッセージ

今年で5回目の開催となる広野町主催国際フォーラムは、「『被災地』から『復興知』へ」と題して、“価値を伝える広域的な連携”、“効果的な情報発信手段”を全体テーマとして、4日間で14のセッションと7つのサイドイベント、3つの交流イベントを実施し、参加者と共に関連な議論を通して、次の知見を得ることが出来ました。

### 1. 廃炉に向けた取り組みについて

現状、責任体制、今後の進め方、リスク評価、困難な点、決定していない点、廃炉事業の積立金制度の創設などに関する情報発信の継続、リスクに対する認識の共有が重要であるとの理解に至った。今後長期にわたる廃炉に立ち向かうためには、一方向からの伝える手段に拘泥することなく、双方向に伝わるための創意工夫が必要であり、情報共有と、廃炉に関わる全ての分野における人材育成を、国や民間だけではなく地域の課題としても取り組んでいくこととする。

### 2. 新技術開発について

当地域は、地震、原子力発電所事故、風評被害が複合的に発生し、世界的にも稀有なアクセントに見舞われた地域であるが故に、ここから実践的な新しい技術の開発が期待されているところである。福島イノベーションコースト構想に基づき、産官学の連携を図って、ビルド・バック・ベター（より良い復興）を目指して、次世代の世界に貢献する技術開発について後押ししていく。

### 3. スポーツを通じた地域振興について

広野町と楡葉町にまたがって存在するJヴィレッジについて、東日本大震災以後は、福島第一原子力発電所事故処理の拠点施設として使用されていたが、本年7月に「新生Jヴィレッジ」として全天候型練習場やホテル棟の増築など装いも新たに再スタートを切った。当施設について、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催時には、サッカーはもちろん、ラグビー、レスリング、バドミントンなど、広野町と楡葉町のスポーツ施設と共に、各国の事前キャンプ地として使用して頂くべく申請をしている。世界的なイベントを地域創生の起爆剤とするために、各競技団体や指導者などと共に機運を醸成していく取り組みを進めて行くこととする。

### 4. 童謡のまちづくりについて

本年も、昨年に引き続き「ひろの童謡まつり」を期間中同時開催し、童謡誕生百年を祝して募集した童謡作詩コンクールにて将来に継承すべく新たな童謡2曲を選び、発表した。加えて、今を生きる子供たちの健やかな成長と未来を託す子供たちへ豊かな情操や創造性を育てていくまちとして「童謡のまち」宣言をした。さらに、志を共にする兵庫県たつの市と

「童謡の里づくりのまち」交流協定を締結し、共に全国に向けて新しい童謡の魅力を発信していくことを誓った。今後も「童謡」および「童謡のまち」については、これからの町づくりにおいて“広野らしさ”を形作るための継承すべき基礎としていく。

### 5. 復興に関する地域からの発信について

第1回国際フォーラムから通暁するテーマである「被災地から何を発信するか」について、本年は、具体的に浜通りの持つ可能性に言及した上で、福島イノベーションコースト構想と連動した技術とアートを融合した芸術祭開催や、東京の支部ではなく復興途上の地域に根差した演技者たちによる浜通りでの演劇祭開催、内外訪問者との協同と交流を通じた地域に根差した芸術祭の実施アイデアなどが参加者から公表された。また、浜通りの新しい姿を創出するための、情報共有、地域の連携、参画する者の力の結集、何よりも発信し続けることの重要性が示された。広野町は、東日本大震災の復興のフロントランナーとして常に新たな風を取り入れ、地域での連携を視野に入れつつ、常に何を伝えていくべきなのかを模索しながら、継続的な被災地からの発信に今後とも努めていく。

以上のフォーラムを通して得られた知見から、我々は、この地域が豊かな伝統と文化に基づく智慧を内在する可能性に富んだ地域であることを確認した。それと同時に、遠くを展望するためには、まず足元である、ふるさと広野町を大切にすることが重要であることを認識した。被災から7年が経ち、復興に至る艱難辛苦の過程で我々が失い、培い、獲得した社会的かつ自然科学的叡智、知識、智慧、経験知から成る「復興知」こそが次代に伝えるべき価値であると考え、これを伝えるため、これを基盤とし、再生から創生へ新たな価値観を加えつつ、次世代が幸せを感じられる新しいまちづくりに邁進することを、同じ時代にここで生きる我々の責務とするものである。

平成30年10月14日  
第5回国際フォーラム 「被災地」から「復興知」へ  
参加者一同



ふたば未来学園による演劇  
(12日 公民館)



基調講演「駅前の本屋さんにてできること」  
(12日 公民館)



作業員との共生  
(13日 公民館)



ふたば未来学園農業・商業 実習販売  
(12日 公民館エントランス)



芸術文化を通じた連携と地域振興  
(14日 公民館)



第24回ひろの童謡まつり  
(13日 体育館)



ふたば未来学園・未来創造探求研究発表  
(14日 公民館)



広野中学生海外研修報告会～異文化体験を通して～  
(14日 公民館)



地域振興におけるスポーツ活用  
(14日 公民館)



東京大学アイソトープ総合センター  
放射性同位元素測定による環境評価研究  
(14日 公民館)